

平成 21 年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	不便さを楽しもう・未来のために
事業主体 (連絡先)	大鹿村観光協会 電話：0265-39-2929
事業区分	
事業タイプ	
総事業費	1,945,755 円 (うち支援金：1,640,000 円)

事業内容

大鹿村内のビューポイントの紹介は勿論、文化・歴史守り継がれてる物事などの紹介、伝えなければならないマナーや自然に対するやさしい心の育成を目的とした「おすすめスポット専門誌」を作成し、多くの方に、田舎で不便であるが故の大鹿村の魅力を満喫し、楽しみ方を見つけ出してもらい、2度3度と足を運んでもらえるようにする。
非日常的空間を癒しの空間とする事で、心のホスピタルとしての観光にする。



自己評価 (事業実施率) 【 A 】

事業効果

地元の皆さんに、それぞれに携わってきた事柄についてお話を聞くうちに、大鹿村の歴史や時代の移り変わりを感じる中、今伝えておきたい事柄や、変わらないでほしい事など、今までに話されるきっかけのないままにきた事から、自分たちが伝え残そうの気持ちになり、村民皆で作あげたガイド本となった事は、大変に中身の濃い物と思う。大鹿村の不便さを強調する事により、ここで頑張っている心の強さを優しさが、改めて村民の心の中に意識できた。
このガイド本を読み「大鹿村」の隠れた部分を知ってもらい楽しみ方を選んで戴けるようになった。

【目標・ねらい】

- 隠れた大鹿村の魅力をPR
- 心のホスピタルとしての大鹿村になろう
- 村民が残したいと考える文化・歴史・マナーを伝える
- 大鹿村で楽しむ方法を見つけしてほしいPR
- 不便だからこそ楽しさを味わおうのPR

自己評価 (目標達成率) 【 A 】

今後の取り組み

恵まれた環境の中で育ち暮らすことから「不便」という事に対して避けたい事としている中で「不便」から生まれる知恵や「不便」だからこそ自然と暮らす時間を充分に楽しむ事に「大鹿村ガイドブック」で興味をわかし、大鹿へ訪れて戴き、不便さを存分に味わい楽しみ、心の癒しになって戴けるようにしていきたい。二本の足でしっかり立ち、物事を判断する力や知恵を養う為の手段として、大鹿村を心の故郷とし、何回も訪れて戴けるようにPRに務め、さりげない気配りおもてなしをして参ります。

※自己評価欄は「A」90%以上「B」70~89%「C」50~69%「D」49%以下で示すこと。